

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Evidence-based review of the use of cryosurgery in treatment of basal cell carcinoma.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCCQ13-3	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 （ I ）	
	Pubmed ID	12786697	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Dermatol Surg	
	雑誌 ID		
	巻	29	
	号	6	
	ページ	566-71	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2 ）	
	発行年月	2003	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Kokoszka A	St. Luke's-Roosevelt 病院
その他著者 1		Scheinfeld N	同上
その他著者 2			
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

レビュー研究の6項目	目的	基底細胞癌に対する凍結療法をシステマティックレビューする
	データソース	MEDLINE, EMBASE, CancerLit, Cochrane Databse
	研究の選択	基底細胞癌に対する再発率、整容的結果について記述したもの 他の皮膚癌を含めたものは除外
	データ抽出	13 の非対称研究と 4 の他の治療法とのランダム化試験
	主な結果	症例蓄積研究が多く、エビデンスのレベルは低かった。ほとんどの報告が結節型、表在型で 2cm 以下と低リスクの症例を選んでいるものの、再発率は 10%以下と良好な結果を示していた。整容的には手術療法が優るとの報告が 1 報あったが、凍結療法で良好との報告が多かった。
	結論	凍結療法の局所再発率は 10%以下と報告されているが、その評価は多くは臨床的な評価であり（病理学的検討なし）、また 1 年という観察期間の短いものもあり、注意を要する。整容的には多くの報告者が良好としている。
レビューワーコメント	備考	
	レビューワー氏名	師井 洋一
レビューワーコメント	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ I ） 凍結療法のシステマティックレビューである。報告者の多くが、結節型および表在型の基底細胞癌を対象としているので、これらの低リスク症例には安価で簡便な凍結療法は基底細胞癌の治療として有用である。また、2 回の凍結サイクルが推奨される。しかし、予後不良な浸潤型に対してのエビデンスはない。